

第 3 期

昭和5年10月3日～昭和9年10月2日 [昭5.10.3選挙執行] 定数36名

この期の 主な出来事

- * 満州事変勃発 (昭6.9)、国際連盟脱退 (昭8.3)
- * 札幌村の一部を札幌市に編入 (字札幌村、苗穂村、雁来村) (昭9.3)

会期の最長記録

昭和6年第3回市会は、会期62日間、会議日数が43日間に及びました。この会議に付された案件は24件でしたが、この中に「電業案」(発電事業案および上水道事業案など)が含まれていたため、議会が紛糾しました。この案件が当時いかに重要な問題であったかがうかがわれます。史上例を見ない長期間となり、その間、副議長不信任案、市長不信任案が提出されました。いまだにこの記録は破られていません。



第3期市会議員



昭和6年第3回市会で62日間の会期の原因となった電業案



市立診療所が無料往診開始(昭6.7)



駅前の市営バス
雪国には欠かせないチェーンをはいていた。



清華亭が明治天皇聖蹟として史蹟に指定
(現札幌市指定文化財 北7西7) (昭9.11)

- 昭和7年の市会で札幌乗合自動車株式会社(通称「青バス」)の事業および物件の譲り受け、乗合自動車路線追加の議決を行い、市営バスと整理統合されることになりました。

第 4 期

昭和9年10月3日～昭和13年10月2日 [昭9.10.3選挙執行] 定数40名

この期の 主な出来事

- * 二・二六事件発生 (昭11.2)、盧溝橋事件・日中戦争勃発 (昭12.7)
- * 東京～札幌定期航空運行開始(昭12.4)、第5回冬季オリンピック大会札幌開催決定(翌年返上) (昭12.6)

庶民とくだもの

昭和11年、庶民に食料品を安価に提供するために市設市場を設置しました。この設置に当たって問題となったのが扱う商品、特に、当時としては高級品とされていた果物を売るべきという声と、ぜいたく品であるから扱うべきではないという声が真っ向から対立しました。最初は否定的意見が強かったのですが、庶民派代表を自負する議員が、これからは庶民も食後にみかん1個をデザートにするくらいでなければならぬと発言し、この市設市場ではみかんとりんごも扱うことになりました。



第4期市会議員(明治42年建設の庁舎議場で撮影)

塵芥焼却場
(北1東12) (昭10.7)
豊平川尻川地帯に、工費13万円で竣工



天皇の北海道ご巡幸に対する上表奏呈を可決(昭11.9)
明治天皇の行幸以来60年ぶりの天皇行幸に対する上表は第4回市会で可決されました。



藻岩上水道完成(昭12.7)
旧藻岩村大字山鼻村に完成した藻岩浄水場は、市内1万8千戸に給水しました。



- 昭和12年の市会で南一条橋架け替えについて審議、日中戦争(支那事変)に関し市税免除、水道使用料免除などを可決しました。



市役所庁舎落成(北1西4) (昭12.3)